

あけましておめでとうございます

～新しい年に夢と希望を～

子育て支援センタースタッフ一同



あけましておめでとうございます。昨年は皆様に支えられ、無事に1年を終えることができました。今年もゆったりとくつろげることができ、子どもたちの笑い声やお母さん方の楽しい語らいが聞こえてくる支援センターを目指していきたいと思います。

どうぞよろしくお祈りいたします。



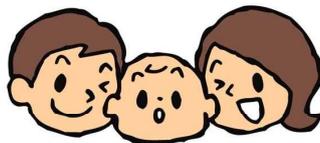
【今年の干支は？】 2021年の「辛丑」の特徴は？

2021年の干支は、「丑（うし）」年です。さらに詳しく言うと、「辛丑（かのとうし）」といいます。「辛（かのと）」は「草木が枯れ、新しくなろうとしている状態」を表し、「丑（うし）」は「種から芽が出ようとする状態」を表します。それぞれ、「新しくなろうとしている」「芽を出そうとしている」ということで、2021は、「一つの出来事が終わり、新しい出発の兆し、新しく生まれ変わる」という年ではないでしょうか。昨年は、コロナによって、多くの困難に見舞われ、私たちの生活様式も様変わりしました。今年も、みんなでコロナを克服し、その中から数々のイノベーションが生まれ、希望に満ちた年になると思います。まさに、我が子の成長に、新たなすばらしい発見や喜びに溢れ、みなさんにとって良い年となることでしょう。



～子育てワンポイントアドバイス～ ～社会は、変わっても～

家の中に子どもはせいぜい1人か2人。祖父母が同居していない家庭も珍しくありません。隣り近所に遊び仲間がいなくなり、大人たちも近所の子どもに関心を寄せなくなりました。人づきあいが少ないと、子どもの社会性も育ちにくいものです。社会性は小さいときから多くの人との関わりから身につけていきます。さあ、玄関のドアを大きく開いて子どもとともに近所の人や子どもたちとの交流を楽しみましょう。これが、社会性を身につける第一歩です。しかし、子ども同士、いろいろと遊んだり、楽しんだりする中で、楽しいことばかりとは限りません。疲れたり、傷ついたりすることもあります。その時、帰る場所は、温かい自分の家庭、つまりパパやママです。そんな時は「あなたがいるから幸せ。」という気持ちを子どもにしっかりと伝えましょう。子どもを丸ごと受けとめてやってください。これが親の愛情です。その愛情に支えられて、子どもはまた、外に飛び出すことができるのです。「親の愛情をしっかりと感じとらせる。社会性を身につけさせる。」今も昔も変わらぬ家庭の働きです。



～ 子育て支援センター「でんでんむし」の12月のイベントから ～

**「ミュージカル～はらぺこあおむし～」11日(金)**  
 11日は佐賀女子短期大学の学生さんによる「ミュージカル～はらぺこあおむし～」がありました。子どもたちも知っているお話で、歌、演技に子どもも大人も引き込まれ、親子で一緒に楽しむことができました。

**第5回「ママカフェ」3日(木)**  
 今回は、6組、13名の方に参加いただきました。席の配置・3密に気を配りながらの開催でしたが、お菓子をつまみ、お茶やコーヒーをいただき、子どもたちの素敵な笑顔と楽しい語らい…。初めて参加された方からも「楽しいひとときでした。」と喜んでいただきました。

**今月のメニュー**

- 7日 10:30～「ママカフェ」
- 14日 14:30～「食育相談会」  
 ・講師:佐賀女子短期大学 助手 西原 由紀先生
- 19日 10:30～「お誕生日おめでとう」(児童館と合同)
- 28日 10:30～「子育て講話」  
 ・演題:小学校から見える乳幼児期  
 ・講師:佐賀女子短期大学 准教授 脇山 英靖先生  
 ※全ての講座、イベントで託児あります。

☆連絡先 多久市児童センター内「子育て支援センター」☆ [Tel 0952-37-1117] (みんな・いっしょに・いいな)